



■ 阿南市文化祭 出品作品の募集

第43回阿南市文化祭が、10月23日(木)～11月9日(日)に開催されますのでご出品ください。

美術展作品

出品資格者 市内在住、出身の方。または市にゆかりのある方。(ただし小・中学生は出品できません)

作品の規格 額装には、ガラスを用いないこと。

■日本画…6号～50号で、額装か表装(アクリルも不可)

■洋画…6号～50号で、額装(50号は縦額のみ)

■書道…半切以下で表装か軸仕立て(縦額のみ)

■写真…半切から全紙まででフスマ張り

■彫塑・工芸・デザイン…1m×1.5m未満、高さ1mまでで、展示にふさわしいように仕立てること。

出品点数 原則1人1点(ただし、写真、彫塑・工芸・デザインは2点まで可)

会費・出品料 市の美術協会会員は不要。初めて出品される方は、会費と入会金の2,500円が必要です。

作品の受付・搬入場所と日時 文化会館 研修室

10月26日(日) 9:30～12:00のみ

俳句・短歌作品

出品点数 ・俳句…当季(秋)雑詠2句

・短歌…1首

※俳句、短歌ともに未発表のものに限ります。

出品方法 はがきに住所、氏名、電話番号を明記のうえ、俳句・短歌ともに9月12日(金)までに、文化振興課(俳句係)または(短歌係)までお送りください。

出品・問い合わせ 〒774-0030 富岡町西池田

135番地1 文化振興課 ☎22-1798) へ



■ 「情熱のフラメンコ!アリシア&ネストル フラメンコ舞踊団」 チケット発売

魂を揺さぶる舞踊!その熱き情熱がほとぼりするステージをぜひ体感してください。

日時 12月3日(水) 19:00開演(開場18:30)

場所 コスモホール(情報文化センター)

入場料 全席自由 3,500円

(団体割引:10人以上一括購入の場合、1枚3,000円)

※団体割引券は情報文化センターのみの販売

チケット発売開始日 9月6日(出) 10:00～

チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、市民会館、ミリカホール、平惣書店、小山助学館(徳島駅前本店)ほか

問い合わせ 情報文化センター ☎44-5000) へ

■ 夢ホールホワイエコンサート ～サクソフォン&チェンバロ～

日時 9月20日(出) 14:00～14:45

場所 夢ホール ホワイエ

入場料 500円(ワンドリンク付き)

※仲良しチケットは2人以上で1人400円

(前売りのみ)

出演 新田恭子(サクソフォン)

山田俊美(チェンバロ)

曲目 マレ作曲「スペインのフォリア」ほか

問い合わせ 文化会館 ☎21-0808) へ

■ 第7回コスモホール音楽祭

音楽愛好家の皆さんがコスモホールに集結し、日頃の研鑽(けんさん)の成果を披露します。バラエティーに富んだ演奏をお楽しみください。

日時 【洋楽の部】9月27日(出) 14:00開演

【邦楽の部】 28日(日) 14:00開演

場所 コスモホール(情報文化センター)

入場料 無料

問い合わせ 情報文化センター ☎44-5000) へ

名月鑑賞会(有料・申込不要)

▼第1回 9月7日(日) 午後7時～9時

内容 中秋の名月のお話の後、大型望遠鏡での月の観望会、デジカメでの月の撮影会

▼第2回 10月5日(日) 午後7時～9時

内容 10月8日に起こる皆既月食のお話と、大型望遠鏡による月の観望、デジカメでの月の撮影会

参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児無料

参加方法 当日、開始時間までに科学センターにお越しください。デジカメをお持ちの方はご持参ください。※悪天候の場合は中止します。

おもしろ科学実験(無料)

日時 土・日曜日の午前11時～、午後2時20分～の2回

※内容はお問い合わせください。

宇宙の日特別講演会

(無料・申込不要)

9月12日の宇宙の日に関連し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)より講師の方をお迎えして、最新の宇宙開発についてお話をさせていただきます。講演後、大型望遠鏡を使った天体観望会も実施します。参加者には記念品を差し上げます。

日時 9月20日(出) 午後7時～9時

講師 リモート・センシング技術センター 研究開発部・主任研究員 山本彩さん

参加方法 当日、開始時間までに科学センターにお越しください。

デジタルプラネタリウム

(無料)

日時 毎週土・日・祝日の午後1時30分～、3時～の2回実施(放映時間は約30分)

9月のテーマ 「今夜の星空と皆既月食」

問い合わせは 科学センター

(☎42-1600) へ

9月の休館日

1日(月)、8日(月)、16日(火)、22日(月)、29日(月)

平成26年度

阿南市文化財講座

6月19日にご講演をいただいた講師の方に、ご寄稿をいただきました。

国会議事堂に使用された阿南市の大理石

元県立博物館館長

東明 省三さん

国会議事堂の生まれるまで

明治二十二年(一八八九)、大日本帝国憲法が公布され、翌二十三年に国会を開設したが、本格的な国会議事堂の建築が間に合わず、麹町区(現千代田区)内幸町二丁目に木造の仮議事堂が十一月二十四日完成翌日、第一回帝国議会を招集した。翌二十四年一月と大正十四年(一九二五)九月の火事で全焼し、三度目の仮議事堂が昭和十一年(一九三六)五月の第六十九回帝国議会まで使われた(仮住まい四十六年間)。

明治十九年(一八八六)に現在地の国会議事堂建設が決定し、内閣(後、内務省)に臨時建築局を設置。明治四十一年(一九〇八)予算に建築調査費を計上し、建築用木材・石材調査を開始(大正元年まで)。その後、大蔵省内に担当部局を設け、大正九年(一九二〇)六月起工、昭和十一年十一月に、鉄骨鉄筋コンク

リートの耐震耐火建築が総工費二五七四万円(現在の金額で五〇〇億円程度)で完成した。

国会議事堂の石

議事堂の石を初めて学術的に調査研究したのは、一九七六(九〇)と衆議院議員を務めた工藤 晃(一九二六)である。

外装には三種類の花こう岩、内装には三十五銘柄の大理石、五種類の蛇紋岩などの石材が使われている。大理石は徳島県産が最も多く、重要な場所に使われている。

阿南市産の大理石

国会議事堂に使われた徳島県産の大理石は全部で七銘柄となっており、阿南市産はそのうち五種類を占める。以下、阿南市で採石された大理石の詳細を紹介する。

時鳥 阿瀬比町阿利田産

議事堂中央階段、天皇陛下御休所前入口の額縁や御休所前広間に使用。

加茂更紗 桑野町大地産

採石を指揮した松浦家には、当時の出勤簿や法被が残されている。また、大理石を加工した岐阜県大垣市の矢橋大理石(株)には、加茂更紗を使った帝国議事堂落成記念碑がある。中央玄関、中央広間へ上る階段等に使用。



「時鳥」採石跡

答島 津乃峰町東分産

石材名は旧見能林村答島の地名に因む。三階廊下幅木に広く使用。

淡雪 阿瀬比町阿利田く加茂町黒河産

大理石の中で、一番多く使用されており、天皇陛下御休所前広間の幅木、両院議場の幅木、二階通路の幅木等に使われている。

新淡雪 宝田町井関産

中央広間のモザイクの一部に使用。その他、徳島県産の大理石は曙と木頭石が使用されており、ともに旧木沢村から産出しているが、その採石には阿南市の採石業者が関わっている。

国会議事堂の建築が開始された頃には、海外から大理石の輸入が始まっていたが、建築にはすべて日本国内産の石材を使用。現在は採取不能なものがほとんどで、国会議事堂は「国産石材の博物館」ともいえる。